

奈良県宇陀市

橋梁メンテナンスの効率化、技術の補完を目指した

地域連携による包括的民間委託の実施

【テ－マ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

令和5年12月より地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）のモデル自治体として選定。宇陀地域（宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村、奈良県（オブザーバー））で水平連携を行い、橋梁メンテナンス（点検・計画・設計・工事）の包括的民間委託の実施を目指す。

①解決したい課題

1. 本事業により解決したい課題

宇陀市は、技術者の不足や毎年100橋程の橋梁点検の実施に時間を要したり、インフラメンテナンスに苦慮している。そこで、宇陀土木事務所管内で同様な課題をかかえる、曽爾村・御杖村・東吉野村に声をかけ、また奈良県にオブザーバーの役割で参加していただき、メンテナンスの効率化・技術の補完を目指し【群マネ】に取り組んでいる。

現在検討している事業は、地域連携を伴う橋梁メンテナンス（点検・計画・設計・工事）の包括的民間委託であり、他に事例のない先進的なもので、実現に向けては民間ノウハウの活用が非常に重要なものである。そこで本事業を活用し、地域のインフラを束ね包括的に管理する官民の連携体制を構築したい。

2. 人口・面積・立地・対象となる公共施設の規模や種類

自治体名	人口（万人）	面積（km ² ）	技術系職員の数（人）	橋梁数（橋）
宇陀市	2.8	248	12	532
曽爾村	0.1	48	0	89
御杖村	0.1	80	0	235
東吉野村	0.2	132	1	156



3. 取組状況、今後のスケジュールについて

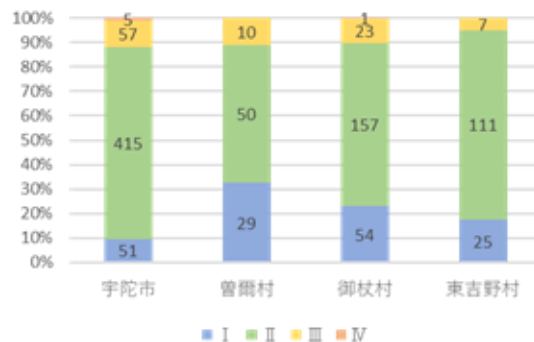
令和7年度 小規模試行的な連携を行う
（宇陀市、曽爾村、御杖村の水平連携で橋梁点検）
令和8年度以降 本連携を目指す。

②課題解決の方向性等

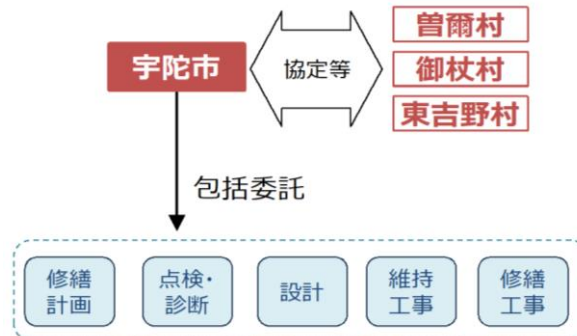
課題解決に向けた制約や条件・方向性について

- 橋梁メンテナンスの効率化（Ⅲ判定橋梁の早期解消・発生の抑制）により、事後保全から予防保全への転換を目指す。
- 地域内の自治体における技術者不足へ対応するため、水平連携により技術系以外の職員も含めたメンテナンス人材の育成、技術の補完を目指す。
- 業務分野と工事分野を含む、様々なスキームの可能性を検討する。
- データの連携・一元管理（DX）の活用も視野に取組む

健全度ごとの橋梁数の割合



地域のインフラを束ね、官民連携により包括的に管理



③課題解決のイメージ・効果

- 自治体 自治体職員の負担の軽減・メンテナンスの推進、技術者の育成（技術の補完と継承）
- 地域企業 地域企業が担う業務の維持・拡大、技術力の確保
- 地域住民 安全で安心なインフラの利用・活用の継続

その他

【地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）取組状況】

令和5年12月 モデル自治体選定 令和6年1月 地域打合せ（第1回）
令和6年6月 地域打合せ（第2回） 令和6年7月 地域打合せ（第3回）
令和7年1月 地域打合せ（第4回）
宇陀地域（宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村、奈良県）で検討を重ねている。